

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	骨盤臓器脱患者の疾患レジストリの構築
当院の研究責任者 (所属)	宮里実 (琉球大学大学院医学研究科システム生理学講座) 芦刈明日香 (琉球大学大学院医学研究科腎泌尿器外科学講座)
他の研究機関および各機関の研究責任者	ちばなクリニック (研究責任者:新里博) 沖縄協同病院 (研究責任者:嘉手川豪心) まちだ泌尿器科クリニック (研究責任者:町田典子)
本研究の目的	壁から膀胱、子宮、直腸といった骨盤内臓器が脱出する骨盤臓器脱発症の頻度は中高年女性の1-2割ともいわれ、著しく生活の質を低下させ、超高齢化社会を迎えた近年、患者数は増加しています。妊娠、出産という女性特有のライフイベントに起因することが多いと言われていますが、未経産婦や家族発症も報告されており、遺伝的要因もあることが考えられています。ほとんどすべての病気は、その人の生まれながらの体質（遺伝素因）と生活習慣、加齢などの影響（環境因子）の両者が組合わさって起こります。そこで、琉球大学では沖縄県内の成人女性と骨盤臓器脱患者を対象とした臨床研究を行い、出産、基礎疾患、職業、遺伝的要因が合わさって骨盤臓器脱が発症すると仮定し本研究において検証していきます。尚、本研究は、琉球大学の人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を受け、研究機関の長（病院長）の許可を受けて実施されます。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2030年3月31日
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2010年6月～2020年8月の間に、琉球大学病院腎泌尿器外科で手術または加療を受けた骨盤臓器脱患者 ●利用する情報 基本情報：年齢、身長、BMI、経産数、骨盤臓器脱（POP）家族歴、子宮摘出歴、喫煙歴、呼吸器疾患・膠原病・高血圧・糖尿病・乳がん・その他併存疾患、職業歴、POP手術歴、POP-Q Stage (pelvic organ prolapse quantification system)、過活動膀胱症状質問票(OABSS)スコア
情報の他の研究機関への提供	本学から共同研究機関への情報の提供はありません。

試料・情報の二次利用	本研究で収集した情報は、今後新たな研究に利用することができます。新たな研究に利用する場合には、人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査により新たに承認された後に情報を使用させていただきます。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化した状態で利用します。この研究の結果は、学術雑誌や学会にて公表されることがあります、名前や個人を特定できるような情報が使用されることはありません。学会等の報告にあたっても、個人が特定される情報を報告することはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の資金は琉球大学システム生理学講座の研究費で行います。また、各研究機関の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得て行います。
お問い合わせ先	電話：098-895-1110 担当者：宮里 実
備考	作成日：2024.05.16